取扱説明書
DVD/CD プレーヤー

品番 **DVD-S50**

このたびは、DVD/CD プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（☞21 ～ 23 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**

■お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

DVD ビデオのリージョン番号

発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。

本機の番号は**「2」**です。
「2」（または「2」を含むもの）と「ALL」が表示された DVD ビデオの再生が可能です。

（例）

保証書別添付　上手に使って上手に節電

もくじ

準備　操作　ご参考

■ 本体

リモコン受信部（☞3 ページ）
ディスクトレイ（☞8 ページ）
本体表示窓
再生状況の確認（☞9 ページ）
電源（☞8 ページ）
ディスクトレイの開閉（☞8 ページ）
停止（☞8 ページ）
一時停止（☞8 ページ）
再生（☞8 ページ）

音声出力端子（☞3 ページ）
D1/D2 映像出力端子（☞4 ページ）
同軸端子（☞5 ページ）
映像出力端子（☞3 ページ）
S1 映像出力端子（☞4 ページ）
光端子（☞5 ページ）
AC 入力端子

■ リモコン

ナイトサウンドモード（☞13 ページ）
アドバンストサラウンド（☞12 ページ）
表示窓切り換え（☞9 ページ）
AV エンハンサー（☞12 ページ）
電源（☞5 ページ）
クイック OSD（☞9 ページ）
アドバンストディスクレビュー（☞10 ページ）
重低音（☞13 ページ）
番号入力（☞9 ページ）
マルチ リ.マスター（☞13 ページ）
30秒スキップ（☞10 ページ）
取り消し
クイックリプレイ（☞11 ページ）
スキップ（☞8 ページ）
スロー／サーチ（☞8 ページ）
停止（☞8 ページ）
再生（☞8 ページ）
一時停止（☞8 ページ）
トップメニュー／再生ナビ（☞14、15 ページ）
メニュー／プレイリスト（☞14、15 ページ）
上下左右キー（☞9 ページ）
決定（☞9 ページ）
機能選択（☞16 ページ）
リターン（☞9 ページ）
音声（☞11 ページ）
アングル／ページ（☞11 ページ）
字幕（☞11 ページ）
初期設定（☞5、18 ページ）
再生モード（☞12 ページ）
グループ（☞11 ページ）
再生速度（☞10 ページ）
ズーム（☞10 ページ）

付属品

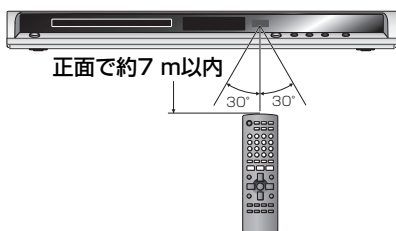
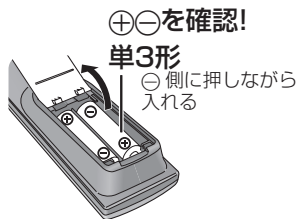
- 本書に記載の品番は、2006 年 2 月現在のものです。品番は変更されることがあります。
- 買い替えは、乾電池以外はサービスルート扱いです。以下の品番で、お買い上げの販売店へご注文ください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

☐ リモコン ★（EUR7631180R）
☐ 電源コード ★（VJA0536）
☐ 映像・音声コード ★（K2KA6BA00004）
☐ リモコン用乾電池 ☆（単 3 形：2 本）

付属品は、販売店でお買い求めいただけます
★印、および4ページに記載の別売品は、松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。（☆印は「パナセンス」では取り扱っていません）
Pana Sense　http://www.sense.panasonic.co.jp/

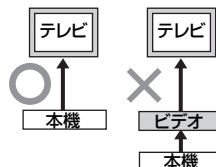
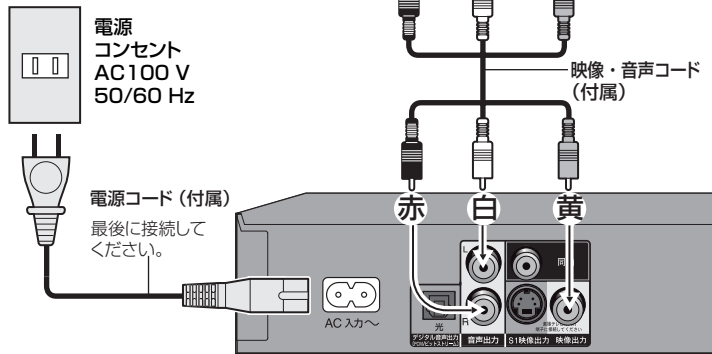
準備 1 リモコン

乾電池（付属）を入れる

使用範囲

準備 2 テレビと接続

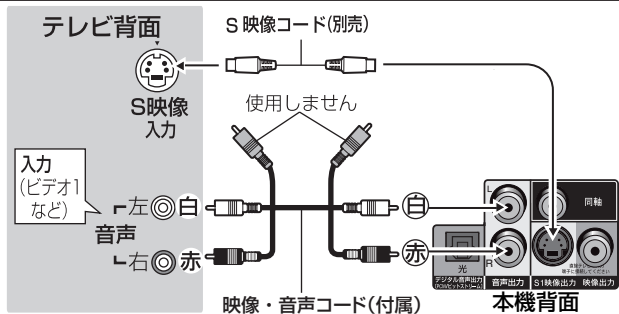
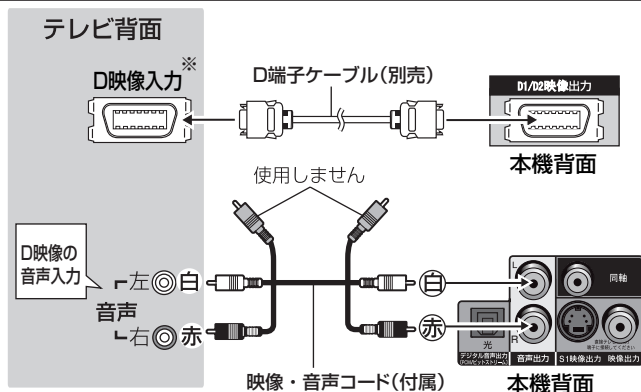
- 接続時は各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 各機器の説明書もご参照ください。

お願い

本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
セレクターなどを経由させて接続すると、著作権保護の影響により、DVD 再生時に映像が乱れることがあります。
- ビデオ内蔵テレビと接続するとき「ビデオ側入力端子」と「テレビ側入力端子」がある場合には、テレビ側入力端子に接続してください。

節電のために

電源が切れた状態でも、約 0.1 W の電力を消費しています。
長時間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをおすすめします。

より高画質で楽しむ

S1 映像出力端子

D1/D2 映像出力端子

※テレビ側にコンポーネント端子しかない場合、D端子ピンケーブル（別売）で接続できます。

プログレッシブ（☞24 ページ、用語解説）映像を楽しむには
プログレッシブ対応テレビと、**「D1/D2 映像」**端子を使って接続した後、**“ビデオ出力モード”**を**“525p”**にして、画面の指示に従ってください（☞17 ページ、画質メニュー）。

別売品のご紹介（2006 年2月）

（品番にはすべて RP- がつきます。）

名 称	S映像コード	D 端子ケーブル	D 端子ピンケーブル	音声コード	光デジタルケーブル
品 番（RP-）	CVS0G10 (1.0 m)	CVDG15A (1.5 m)	CVCDG15 (1.5 m)	CAP3G05 (0.5 m)	CA2005A (0.5 m)
	CVS0G20 (2.0 m)	CVDG30A (3.0 m)	CVCDG30 (3.0 m)	CAP3G10 (1.0 m)	CA2010A (1.0 m)
	CVS0G30 (3.0 m)	CVDG50A (5.0 m)	—	CAP3G15 (1.5 m)	CA2020A (2.0 m)
	CVS0G50 (5.0 m)	—	—	CAP3G20 (2.0 m)	CA2030A (3.0 m)
	—	—	—	CAP3G30 (3.0 m)	—
	—	—	—	CAP3G50 (5.0 m)	—
	—	—	—	CAP3G100 (10.0 m)	—

迫力ある音声で楽しむ

映像については、映像出力端子、S1 映像出力端子、D1/D2 映像出力端子のいずれかの接続をしてください（☞3、4 ページ）。

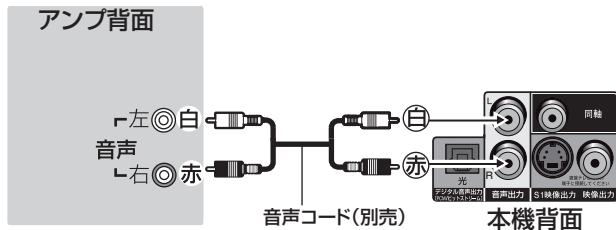
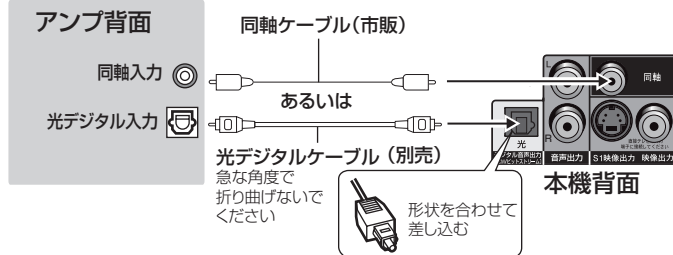
2 チャンネル音声を楽しむ

アンプ背面

音声 左 白 / 右 赤

音声コード(別売)

本機背面

光 デジタル音声出力 (PCM/ビットストリーム) / 音声出力 / S1映像出力 / 映像出力 / 同軸

DVD ビデオのマルチチャンネル音声を楽しむ

DOLBY DIGITAL または、DIGITAL dts SURROUND ロゴの付いたアンプと接続し、

“PCM デジタル出力”、“Dolby Digital”、“DTS Digital Surround”（☞19 ページ、“音声”）を設定してください。

● DVD ビデオに対応していない DTS デコーダーは使用できません。

準備 3 クイックセットアップ

お買い上げ後初めて［初期設定］を押すと、基本的な設定を簡単に行える「クイックセットアップ」画面が表示されます。

準備 テレビの電源を入れて、外部入力（「ビデオ 1」など）に切り換える。

1 電源

電源を入れる

2 初期設定

クイックセットアップ画面を表示させる

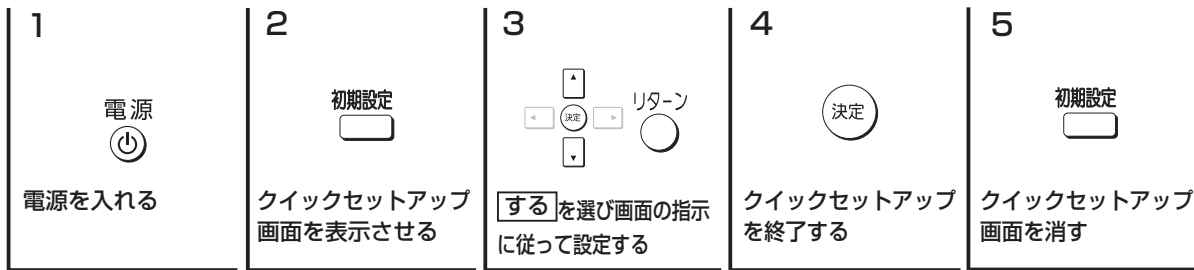
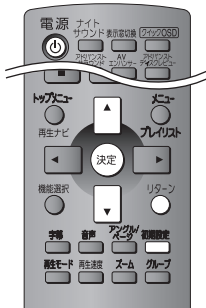
3

［する］を選び画面の指示に従って設定する

4 決定

クイックセットアップを終了する

5 初期設定

クイックセットアップ画面を消す

設定しなおすには

“その他” で “クイックセットアップ " を選んでください。（☞19 ページ）

再生できるディスク

市販ディスク

ディスク名称 ディスクロゴ	本文中での表示	特徴
DVD ビデオ	DVD-V	映画や音楽など、高画質の市販ソフト
ビデオ CD	VCD	映像、音楽や音声が記録された市販ソフト ●SVCD（IEC62107 規格準拠）を含む
CD	CD	音楽や音声が記録された市販ソフト

再生できないディスク

- PAL 方式で記録したディスク
- DVD-RAM [2.6GB/5.2GB、TYPE1（カートリッジから取り出せないもの）]
- ファイナライズしていない DVD-R/DVD-RW/DVD-R DL/+R/+RW/ + R DL
- ブルーレイディスク・DVD オーディオ
- DVD-ROM・バージョン 1.0 の DVD-RW・CD-ROM
- CD-G・SACD・DivX ビデオ
- Photo-CD・CDV・Chaoji VCD（超級と呼ばれる市販の SVCD、CVD、DVCD）など

記録されたディスク（○:再生可　×:再生不可）

ディスク名称 ディスクロゴ	再生できるファイル形式					ファイナライズ※4
	DVD レコーダーなどで記録されたディスク		パソコンなどで記録されたディスク			必要／不要
	DVD-VR ※2	DVD-V ※3	WMA	MP3	JPEG	
DVD-RAM	○	–	×	○	○	不要
DVD-R/RW	○	○	×	○	○	必要
DVD-R DL	○	○	×	×	×	必要
＋R/＋RW –	×	(○)	×	×	×	必要
＋R DL –	×	(○)	×	×	×	必要
CD-R/RW ※1 –	–	–	○	○	○	必要※5

●使用するディスク、記録状態、記録方法やファイルの作り方により再生できない場合があります (☞ 右記)

※1 本機は、CD-DA およびビデオ CD フォーマットで記録された CD-R/RW を再生可能です。
(WMA MP3 JPEG HighMAT ディスクも再生可能です。)

※2 DVD レコーダー、DVD ビデオカメラなど VR(ビデオレコーディング) 規格 Ver.1.1（ビデオ録画のための統一規格）で記録したディスク
DVD-R DL：DVD レコーダー、DVD ビデオカメラの VR(ビデオレコーディング) 規格 Ver.1.2（ビデオ録画のための統一規格）で記録したディスク

※3 DVD レコーダーまたは DVD ビデオカメラなど、DVD ビデオフォーマットで記録されたディスク
＋R/＋RW、＋R DL：DVDビデオフォーマットとは記録形式が異なるため､働かない機能があります。

※4 録音・録画したディスクを再生対応機で再生できるように処理すること。

※5 セッションクローズ (再生対応機で再生できるように処理すること) でも再生できるようになります。

パソコン等でファイルを作るときは

ファイル形式	ディスク	拡張子	備考
WMA	CD-R/RW	".WMA" ".wma"	●対応ビットレート：48 kbps ～ 320 kbps ●著作権保護されたファイルは再生できません。 ●マルチプルビットレートには対応していません。
MP3	DVD-RAM DVD-R/RW CD-R/RW	".MP3" ".mp3"	●対応ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps ●ID3 タグには対応していません。 ●再生可能なサンプリング周波数 DVD-RAM/DVD-R/RW： 11.02、12、22.05、24、44.1、48 kHz CD-R/RW： 8、11.02、12、16、22.05、24、32、44.1、48 kHz
JPEG	DVD-RAM DVD-R/RW CD-R/RW	".JPG" ".jpg" ".JPEG" ".jpeg"	●デジタルカメラで記録された JPEG データ [DCF (Design rule for Camera File system) 規格 Ver.1.0 準拠] を表示します。 ーパソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。 ●MOTION JPEG などの動画や JPEG 以外の静止画（TIFF など）および音声付画像は再生できません。

●8 階層以降にあるグループは、メニュー画面の 8 階層目と同じ列に表示されます。
●表示可能な漢字は、JIS 第一水準のみです。それ以外の漢字は "_"（アンダーバー）で表示されます。
●メニュー画面とパソコンの画面では表示順が異なることがあります。
●ディスクの作り方によっては、再生順が変わることがあります。
●パケットライト方式 (データ記録方式の一つで、データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式) で記録されたファイルは再生できません。

フォルダ名・ファイル名のつけかた

本機では、パソコン等で作成したフォルダ・ファイル名はそれぞれグループ名・コンテンツ名として表示されます。

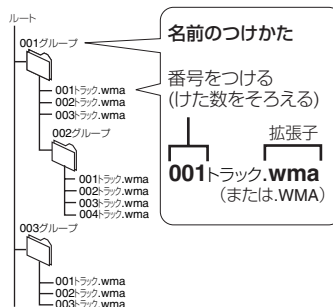
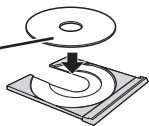
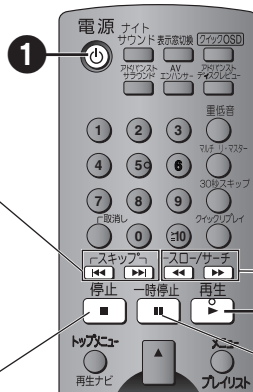
DVD-RAM

●使用できるフォーマット :UDF2.00

DVD-R/RW

●使用できるフォーマット :UDF1.02/ ISO9660
●マルチセッションには対応していません。デフォルトセッションのみ対応しています。

CD-R/RW

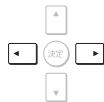
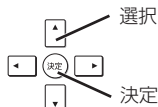
●使用できるフォーマット :ISO9660 level 1 及び level 2（拡張フォーマットを除く）
●マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生開始まで時間がかかることがあります

ディスクを再生する

● DVD-VR と別のフォーマット（JPEG 等）が混在する DVD-RAM 内の JPEG または MP3 を再生するには、“データディスクとして再生”を選んでください（☞17 ページ、その他のメニュー）。
●メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。再生しないときは［■］を押して再生を停止してください。
●+R/+RW では、総タイトル数が正しく表示されないことがあります。

困ったときは、「故障かな！？」（☞26 ～ 28 ページ）をご覧ください。

グループ スキップ
WMA MP3 JPEG

グループを飛び越す。
●一時停止中は働きません。

コマ送り・コマ戻し
（一時停止中）
DVD-VR DVD-V VCD

● VCD ［▶］のみ

メニュー操作
選択
決定

前の画面に戻る
リターン

番号入力
決定

DVD-VR DVD-V VCD CD
例）12：[≧10]→[1]→[2]
WMA MP3 JPEG
例）123：[1]→[2]→[3]→[決定]

メニュー画面
トップメニュー／再生ナビ
トップメニュー DVD-V
再生ナビ DVD-VR（☞14 ページ）
再生コンテンツ メニュー WMA MP3 JPEG（☞15 ページ）

メニュー／プレイリスト
メニュー DVD-V
プレイリスト DVD-VR（☞14 ページ）
ナビメニュー WMA MP3 JPEG（☞15 ページ）

リターン
VCD（プレイバックコントロール付き）
メニューに戻る

本体表示
表示窓切換
番号表示
↑↓
経過時間表示

画面情報
JPEG
字幕

便利な機能

再生状況を確認する（クイック OSD）

■ディスクの再生状況を表示するには

クイックOSD または クイックOSD（本体）を 1 回押す

■ディスクの詳細情報を表示するには

クイックOSD または クイックOSD（本体）を 2 回押す

●画面を消すには、[リターン] を押す。

リピート再生
経過時間が表示されるディスクのみ

JPEG 経過時間が表示されなくても働きます

1 再生中に 機能選択 押す

2 ▲ ▼ で“その他の設定”を選ぶ→▶

3 ▲ ▼ で“再生メニュー”を選ぶ→▶

4 ▲ ▼ で“リピート”を選ぶ→▶

5 ▲ ▼ で項目を選んで 決定 を押す。

●解除するには、手順 5 で“切”を選び、[決定] を押す。
●画面を消すには、[リターン] を押す。

ディスクを再生する
便利な機能

30 秒スキップ DVD-VR DVD-V +R/+RW には働きません（通常再生時のみ）

ＣＭなどを飛ばすのに便利です。

30秒スキップ

再生中に押す

- ディスクまたは再生箇所によっては、秒数が変わったり、機能が働かないこともあります。
- DVD-VR 静止画およびプレイリスト再生中は働きません。

見たいタイトル／プログラムを探す（アドバンストディスクレビュー）

DVD-VR DVD-V +R/+RW には働きません（通常再生時のみ）

各タイトル／プログラムの先頭を、数秒間ずつ順に再生します。

1
押す

上記の画面が表示され、各タイトル / プログラムを順に再生

2 見たいタイトル／プログラムを見つけたら

押す

- 各タイトル / プログラムを 10 分刻みで数秒ずつ再生するには、“アドバンストディスクレビュー”で“インターバルモード”を選択してください。（☞18 ページ、“ディスク”）
- 再生位置により、働かないことがあります。
- DVD-VR 静止画およびプレイリスト再生中は働きません。
- 画面を消すには、**[リターン]** を押す。

早見／早聞き再生・遅見／遅聞き再生 DVD-VR DVD-V

映画のセリフなどを、早聞きしたり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときに、再生速度を微調節できます。

再生速度

再生中に押して“早見 / 早聞き”、“ノーマル”、“遅見 / 遅聞き”を選ぶ

機能選択
再生速度 ◄x1.4

ノーマル
✓早見/早聞き
遅見/遅聞き

微調整するには

画面表示中に [◄►] を押す。

0.6 倍～ 1.4 倍（0.1 倍刻み）

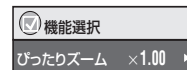
- [►]（再生）を押すと、通常再生に戻ります。
- 速度調節中は
  – ナイトサウンドモード（☞13 ページ）、重低音（H.Bass）（☞13 ページ）、アドバンストサラウンド（☞12 ページ）、マルチ リ . マスター（☞13 ページ）、サウンドエンハンスメント（☞17 ページ）は働きません。
  – デジタル出力は、PCM に切り換わります。
  – サンプリング周波数（☞24 ページ）が 96 kHz の場合、48 kHz になります。
- ディスクの記録状態によっては、働かない場合があります。

映像を拡大する（ズーム）動画に働きます

いろいろな横縦比の映像を拡大して、お使いのテレビ画面サイズに近づけます。

ズーム

押して切り換える（ぴったりズーム）

機能選択
ぴったりズーム ×1.00 ►

オート→ 4：3標準 → ヨーロピアンビスタ →16：9 標準 → アメリカンビスタ
↑――― シネマスコープ 2 ←――― シネマスコープ 1 ←―――┘

- ディスクによっては、表示されないものもあります。

微調整するには（任意ズーム）

画面表示中に [◄►] を押す。（押したままにすると速く変わります。）

1.00 倍～ 1.60 倍（0.01 倍刻み）／ 1.60 倍～ 2.00 倍（0.02 倍刻み）

音声　動画に働きます

音声

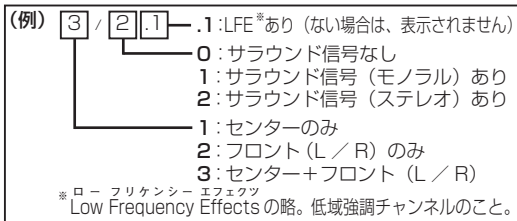
押して切り換える

機能選択
音声　1

- DVD-VR VCD "L"（左）、"R"（右）、"LR"（左右）のいずれかを選べます。
- DVD-V （カラオケディスク）
  [◀▶] でボーカルの入／切ができます。詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

音声属性の表示

LPCM/DDDigital/DTS/MPEG：信号タイプ
kHz：サンプリング周波数
bit：ビット数
ch：チャンネル数

GUI 画面では下記のように表示されます。

字幕　字幕が記録されたディスクに働きます

DVD-V

字幕

押して切り換える

機能選択
字幕　◀入▶

- 字幕の入 / 切は ［◀▶］ を押す。
- +R/+RW では、字幕が記録されていないディスクでも字幕番号が表示されることがあります。

- DVD-VR （字幕の入／切情報を含むディスク）
  – 字幕の入 / 切のみ切り換えることができます。
  – 当社製 DVD レコーダーは字幕の入／切情報を記録できません。

アングルの切り換え DVD-V アングルが複数記録されているディスクに働きます
画像の回転 JPEG

アングル/ページ

再生中に押して切り換える

例：DVD-V
機能選択
アングル　1/4

グループを選んで再生 WMA MP3 JPEG

WMA、MP3、JPEG ディスク内のフォルダは"グループ"として扱います。

1 グループ　停止中に押す

2 ▲ ▼ グループ番号を選び、決定 を押す

機能選択
グループサーチ　1

- リモコンの数字ボタンでも選べます（☞9 ページ、番号入力）。

見のがしたシーンをすぐ再生（クイックリプレイ）

JPEG 以外（経過時間が表示されるディスクのみ）

クイックリプレイ

再生中に押す　（数秒前に戻り、再生を続けます。）

- ディスクまたは再生箇所によっては、戻る秒数が変わったり、機能が働かないこともあります。
- + R/ + RW には働きません。

便利な機能

便利な機能（つづき）

●HighMAT CD をプログラム／ランダム再生するときは、“その他のメニュー”で“データディスクとして再生”を選んでください。（☞17 ページ）

プログラム再生 DVD-VR 以外（最大 32 項目）

1 再生モード 停止中に押して切り換える

例：DVD-V

2 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ≧10 押して項目を選ぶ（☞9 ページ、番号入力）
続けて選ぶときは、この操作を繰り返してください。

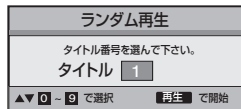
3 再生 押す

●すべての項目（ディスク／タイトル／グループ内の全項目）を選ぶには、[決定] を押したあと、[▲▼] で“ALL”を選び、[決定] を押す。
●次のページを見るには、[アングル／ページ] を押す。
●予約を変更するには、[▲▼] で変更したい項目を選び、手順 2 を行う。
●予約を取り消すには、[▲▼] で取り消したい項目を選び、[取消し] を押す。
（[▲▼◀▶] で“クリア”を選び、[決定] を押しても取り消せます。）
●予約を全て取り消すには、[▲▼◀▶] で“オールクリア”を選び、[決定] を押す。
（電源を切るか、トレイを開けても取り消されます。）

ランダム再生 DVD-VR 以外

1 再生モード 停止中に押して切り換える

例：DVD-V

ランダム再生
タイトル番号を選んで下さい。
タイトル 1
▲▼ 0 ~ 9 で選択　再生 で開始

2 DVD-V WMA MP3 JPEG
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10 押して項目を選ぶ（☞9 ページ、番号入力）

3 再生 押す

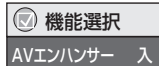
●画面を消すには、停止中に [再生モード] を数回押す。

より高音質・高画質で楽しむ

映像と音声におすすめの効果を加える（AV エンハンサー）

再生中のディスクを自動的に判別し、映像と音声に最適な効果を加えます。

AV エンハンサー 押して“入”を選ぶ

機能選択
AVエンハンサー　入

●ディスクの記録状態により、効果が得られないことがあります。

AV エンハンサー“入”時は下記の音声・画質効果は自動で設定され、個別に変えることはできません。
音声設定：ナイトサウンドモード（☞13 ページ）、
重低音（H.Bass）（☞13 ページ）、
アドバンストサラウンド（☞ 下記）、
マルチ リ . マスター（☞13 ページ）、
シネマボイス（☞17 ページ）、
サウンドエンハンスメント（☞17 ページ）
画質設定：ピクチャーモード（☞17 ページ）

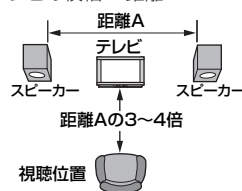
サラウンド効果を楽しむ（アドバンストサラウンド）

2ch 以上の動画ディスクに働きます

2 本のスピーカー（ヘッドホン端子のある機器に接続している場合はヘッドホンでも）でサラウンド効果が得られます。

アドバンストサラウンド 押して切り換える

SP（スピーカー）1 標準 → SP 2 強 → HP（ヘッドホン）1 標準 → HP 2 強 → 切 → SP（スピーカー）1 標準

効果的な視聴位置
テレビのスピーカーを使う場合
テレビの横幅＝距離 A

●サラウンド信号があるディスクの場合、横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。
●接続した機器のサラウンド機能を「切」にしてください。
●ナイトサウンドモード（☞13 ページ）、重低音（H.Bass）（☞13 ページ）“入”時は、働きません。

より自然な音質で聞く（マルチ リ．マスター）

● DVD-VR DVD-V *（48 kHz で記録されたディスク）* VCD CD：
ディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より自然で豊かな音質が楽しめます。（例：48 kHz で記録された DVD-V を 96 kHz で再生する。）
● WMA MP3 *（8 kHz、16 kHz、32 kHz 以外で記録されたディスク）*：
圧縮時に失われた高い周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

マルチ リ.マスター **押して切り替える**

機能選択
マルチ リ.マスター　切

√ 切
1
2
3

設定	DVD-V CD（LPCM）	その他のディスク
	音源に適した設定を選択	**効果の強弱を選択**
切	切	切
1	テンポの速い曲（ポップス・ロックなど）	弱
2	さまざまなテンポの曲（ジャズなど）	中
3	テンポの遅い曲（クラシックなど）	強

● 同軸端子もしくは光端子から音声出力時（☞5 ページ）、実際のサンプリング周波数は“PCM デジタル出力”の設定に合わせて変わります（☞19 ページ）。
● ディスクの記録状態により、効果が得られないことがあります。
● 重低音（H.Bass）（☞ 右記）、ナイトサウンドモード（☞ 右記）、あるいはアドバンストサラウンド（☞12 ページ）動作時は働きません。
● MP3 DVD-RAM および DVD-R/RW 内の MP3 には働きません。

大音量部分を調節する（ナイトサウンドモード）

JPEG 以外

大音量部分を調節し、小さなセリフを聞き取りやすくします。深夜の映画鑑賞や音楽鑑賞に便利です。

ナイト サウンド **押す**

機能選択
ナイトサウンド　入

● ディスクの記録状態により、効果が得られないことがあります。
● MP3 DVD-RAM および DVD-R/RW 内の MP3 には働きません。

重低音を楽しむ (H.Bass) DVD-V

重低音 **押す**

機能選択
重低音(H.Bass)　入

● ＤＶＤビデオの 5.1ch ディスクに働きます。また、2ch ディスクにも一部効果があるものがあります。
● ディスクの記録状態により、効果が得られないことがあります。
● 音声がひずんだり、雑音が聞こえる場合は“切”を選んでください。
● ナイトサウンドモード（☞ 上記）“入”時は、働きません。

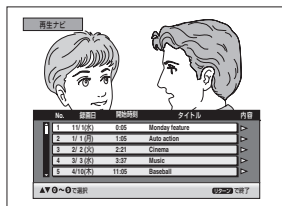
プログラムやプレイリストの再生 DVD-VR

●タイトルはディスクに記録されている場合のみ表示されます。
●本機では、タイトルやプレイリストの編集はできません。

プログラムを選んで再生（再生ナビ）

1 再生ナビ 押す

2 ▲ ▼ で番組を選び、 決定 を押す

- 次のページを見るには［アングル／ページ］を押す。
- リモコンの数字ボタンでも選べます（☞9 ページ、番号入力）。
- ［▶］を押すとプログラム内容を確認できます。

お好みのシーンを再生（プレイリスト）※プレイリストが作成されたディスクのみ

1 プレイリスト 押す

2 ▲ ▼ でプレイリストを選ぶ

- 次のページを見るには［アングル／ページ］を押す。
- リモコンの数字ボタンでも選べます（☞9 ページ、番号入力）。

プレイリスト

No.	作成日	総時間	タイトル	内容
1	11/1	0:00:01	City Penguin	▷
2	1/ 1	0:01:20	Ashley at Prom	▷
3	2/ 2	1:10:04	Formula one	▷
4	3/ 3	0:10:20	Soccer	▷
5	4/10	0:00:01	Baseball	▷

▲▼0～9で選択し、決定を押して下さい　リターン で終了

3 プレイリストを再生するには 決定 を押す

シーンを再生するには

① ▶ 押す

② ▲ ▼ で“シーン一覧”を選び、 決定 を押す。

- “内容確認”を選ぶとプログラム内容を確認できます。

③ ▲ ▼ ◀ ▶ でシーンを選び、 決定 を押す。

メニュー画面を使った CD の再生 CD

●CD テキストではタイトルも表示されます。

1 メニュー 押す

2 ▲ ▼ で曲を選び、 決定 を押す

●次のページを見るには［アングル／ページ］を押す。
●画面を消すには、［メニュー］を押す。

例：CDテキスト

操作ガイドと再生状況表示を切り換えるには［機能選択］を押す。

HighMAT™ CD の再生 WMA MP3 JPEG

メニュー画面表示中

▲ ▼ ◀ ▶ で内容を選び、 決定 を押す

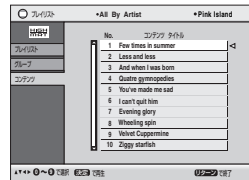
メニュー：
このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表示します。

●メニュー画面に戻るには、［トップメニュー］を押してから［リターン］を数回押す。
●ディスクに記録されたメニュー画面に切り換えるには、メニュー画面表示中に［機能選択］を押す。
●画面の入 / 切は［トップメニュー］を押す。

リスト画面から選んで再生する

1 メニュー 再生中に押す

2 ◀ を押した後、 ▲ ▼ で“プレイリスト”、“グループ”、“コンテンツ”リストを切り換える

3 ▶ を押した後、 ▲ ▼ で項目を選び、 決定 を押す

●次のページを見るには［アングル／ページ］を押す。
●画面を消すには、［メニュー］を押す。

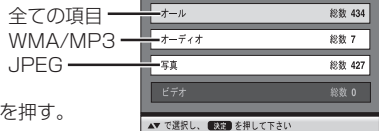
データディスクの再生 WMA MP3 JPEG

以下の場合、“その他のメニュー”で“データディスクとして再生”を選んでください（☞17ページ）。
–HighMAT 規格で記録されたディスクを HighMAT 機能を使わずに再生する
–DVD-VR と他のコンテンツ（JPEG など）が混在する DVD-RAM 内の MP3 JPEG を再生する

項目を順番に再生する（再生コンテンツメニュー）

メニュー画面表示中

▲ ▼ “オール”、“オーディオ”または“写真”を選び、

決定 を押す

●画面の入 / 切は、[トップメニュー] を押す。

項目を選んで再生する（ナビメニュー）

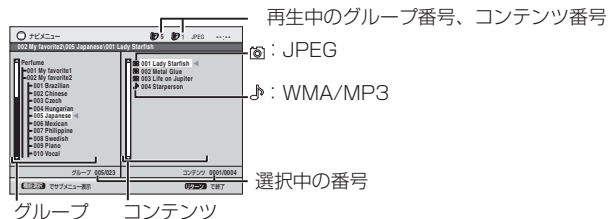
1 メニュー 押す

2 ▲ ▼ ◀ ▶ でグループを選び、決定 を押す

3 ●グループ内のコンテンツを順番に再生するには

決定 押す

●コンテンツを選んで再生するには

▲ ▼ でコンテンツを選び、決定 を押す

●次のページを見るには［アングル／ページ］を押す。
●**JPEG 画像を見ながら、WMA/MP3 を楽しむには、**JPEG コンテンツを選択した後、WMA/MP3 コンテンツを選ぶ。（逆の順序では、できません。）
●画面を消すには、[メニュー] を押す。

■サブメニューを使う

1 メニュー 押す

2 機能選択 押す

3 ▲ ▼ で項目を選び、

決定 を押す

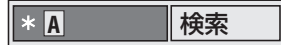
■タイトルを検索して再生

ローマ字入力すると、その語句を含むタイトルを検索します。（大／小文字は区別されません）

1 メニュー 押す

●グループ名を検索するときは、[◀▶] を押してナビメニュー画面内のカーソルを“グループ”側に、コンテンツ名を検索するときは“コンテンツ”側に置いてください。

2 機能選択 押す

3 ▲ ▼ で“検索”を選び 決定 を押す

4 ▲ ▼ で文字を選び 決定 を押す

●続けて入力するにはこの手順を繰り返す。
●[◀◀ ▶▶] で「A、E、I、O、U」にスキップします。
●確定した文字を消すには［◀］を押す。
●入力した文字で始まるタイトルを検索するには、［◀］で“＊”を消してから手順 4 を行う。

5 ▶ で“検索”を選び、決定 を押す

検索結果が画面に表示されます。

6 ▲ ▼ でグループまたはコンテンツを選び、決定 を押す

GUI 画面を使って操作する

1 機能選択
GUI 画面を表示させる

2 選ぶ／次の項目へ／前の項目へ／決定
メニューを選ぶ

3 選ぶ／決定／1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10
内容を選ぶ

4 リターン
設定を終了する

表示される項目はディスクにより異なります。

メニュー

プログラム / グループ / タイトル チャプター / トラック / プレイリスト コンテンツ	**項目を指定して再生** ●[▲▼] で項目を選び、[決定] を押す ●[▲▼] を押したままにすると速く変わります。
時間	**時間を指定して飛び越す**※ **(再生専用タイムワープ)** **1. [決定] を 2 回押して、"タイムワープ" を表示させる** **2. [▲▼] を押して時間を選び、[決定] を押す** ●[▲▼] を押したままにすると速く変わります。 **時間指定再生**※ **(タイムサーチ)** 例) 1 時間 46 分 50 秒から再生 [1] → [4] → [6] → [5] → [0] → [決定] **経過時間/残り時間表示切り換え**
音声	(☞11 ページ) ビットレート/サンプリング周波数 (☞24 ページ) 表示
サムネイル	サムネイル (画像の一覧) 画面表示
字幕	(☞11 ページ)
マーカー (VR)	DVD レコーダーで付けたマークを呼び出す
アングル	(☞11 ページ、アングルの切り換え)
画像回転	(☞11 ページ、画像の回転)
スライドショー	入 ⟷ 切 間隔を "1 速い" ～ "5 遅い" の間で変更できます。 ●再生位置によっては、スキップおよび画像の回転が正常に働かない場合があります。
その他の設定	(☞ 右記)

※ +R/+RW には働きません。

その他の設定

再生速度	(☞10 ページ、早見/早聞き再生・遅見/遅聞き再生)
AV エンハンサー	(☞12 ページ、映像と音声におすすめの効果を加える)

■ 再生メニュー

経過時間表示の出るディスクのみ。(☞9 ページ、本体表示)
(ただし、JPEG のリピートとマーカーはできます。)

リピート	(☞9 ページ、リピート再生)
A-B リピート	**お好みの2点間を繰り返し再生 (A-B リピート再生)** 始点 / 終点で [決定] を押す。取り消すには、さらに [決定] を押す。 ● DVD-VR (静止画部分) : 働きません。
マーカー (DVD-VR には働きません。)	**お好みの位置を記憶 (5 個まで)** [決定] を押してから下記の操作を行う。 **マークを付けるには** → 付けたい位置で [決定] を押す。 **他にマークを付けるには** → [◀▶] で "＊" を選び、[決定] を押す。 **マークを呼び出すには** → [◀▶] でマークを選び、[決定] を押す。 **マークを取り消すには** → [◀▶] でマークを選び、[取消し] を押す。 ●プログラム、ランダム再生中は働きません。 ●本機で付けたマーカーは、電源を切るか、トレイを開けると取り消されます。
アドバンスト ディスクレビュー	(☞10 ページ)

■ 画質メニュー

ピクチャーモード	**画質を選ぶ** **ノーマル** : 通常画像 **シネマ 1** : 映画館で見ているようなしっとり感 **シネマ 2** : 昔の映画などをくっきり **アニメ** : アニメ向き **ダイナミック** : コントラストを強調した、躍動感あふれる映像 **ユーザー** : (☞17 ページ、ピクチャーモード、詳細画質設定)

その他の設定

■ 画質メニュー（つづき）

ピクチャーモード	**詳細画質設定**（「ピクチャーモード」で“ユーザー”を選んだときのみ） **コントラスト**：映像の白い部分と黒い部分に強弱をつけます（－７～＋７） **ブライトネス**：画面の明るさを調節します（０～＋15） **シャープネス**：水平方向の解像度を調節します（－７～＋７） **カラー**：色の濃さを調節します（－７～＋７） **ガンマ**：暗く見づらい部分の明るさを調節します（０～＋５） **デプスエンハンサー**： 背景部分に現れるノイズを除去し、奥行き感のある映像を楽しめます（０～＋４） **MPEG DNR**： モザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見られるもやのようなノイズを除去します（０～＋３）
ビデオ出力モード	**525i（インターレース）↔ 525p（プログレッシブ）** ● “525p”を選んで、確認画面が表示された場合は、プログレッシブ対応テレビに接続しているときのみ“はい”を選んでください。
変換モード	上記“525p”を選んだときのみ **プログレッシブ映像の出力を選ぶ** ● トレイを開けると、設定がオート１に戻ります。 **オート１**（標準）：フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換します。 **オート２**：オート１に加えて、フレーム数の異なるフィルム素材も自動で識別し、適切に変換します。 **ビデオ**：　オート１またはオート２でブレが生じるとき

■ 音声メニュー

ナイトサウンドモード	**(☞13ページ、大音量部分を調節する）**
重低音(H.Bass)	**(☞13ページ、重低音を楽しむ）**
アドバンストサラウンド	**(☞12ページ、サラウンド効果を楽しむ）**
シネマボイス	**映画のセリフを聞き取りやすくする** DVD-V（ドルビーデジタル、DTS、３チャンネル以上でセンターチャンネルにセリフが入っているディスク） **入 ←→ 切**
マルチ リ.マスター	**(☞13ページ、より自然な音質で聞く）**

■ 音声メニュー（つづき）

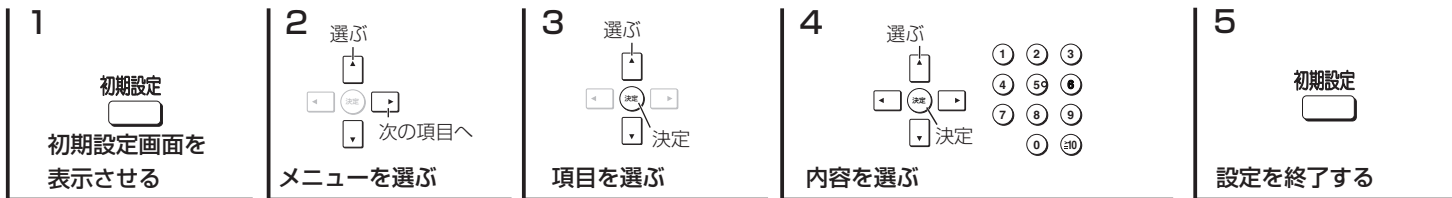
サウンドエンハンスメント	**アナログのまろやかな音質に近づける** DVD-VR DVD-V（48 kHzで記録されたディスク） VCD CD WMA MP3（8 kHz、16 kHz、32 kHz以外で記録されたディスク） **切 ←→ 入** ● MP3 DVD-RAMおよびDVD-R/RW内のMP3には働きません。 ● ナイトサウンドモード（☞13ページ）、重低音（H.Bass）（☞13ページ）、アドバンストサラウンド（☞12ページ）およびマルチ リ.マスター（☞13ページ）動作時は働きません。 ● ディスクの記録状態により、効果が得られないことがあります。
アッテネータ	**音声がひずむ場合「入」を選ぶ**（“音声出力”端子接続時 ☞3～5ページ） **入 ←→ 切**

■ 表示メニュー

情報表示	**切 ↔ 入**
字幕位置	**０～－60（２段階ずつ）**
字幕明るさ	**オート（明るさを自動調節する）、０～－７**
4:3 アスペクト	**16：９テレビへの４：３映像の表示のしかたを選ぶ** **ノーマル**：　テレビの画面幅に合わせて拡大 **オート**：　通常は“シュリンク”に、レターボックスの映像（上下に帯のある映像）は“ズーム”に、自動的に切り換え **シュリンク**：テレビ画面中央に４：３の画面比で映す **ズーム**：　４：３の画面比で拡大
ぴったりズーム	**(☞10ページ、映像を拡大する）**
任意ズーム	**(☞10ページ、映像を拡大する）**
ビットレート表示	**動画ディスクに働きます　切 ↔ 入**
GUI シースルー	**GUI メニューの背景を半透明にする** **切／入／オート（映像が出ているとき、半透明にする）**
GUI 明るさ	**－３～+3**
クイック OSD	**(☞9ページ、再生状況を確認する）**

■ その他のメニュー

初期設定	**(☞18ページ）**
DVD-VR として再生 HighMAT として再生 あるいは データディスクとして再生	以下の場合、“データディスクとして再生”を選んでください。 – DVD-VR と他のコンテンツ（JPEG など）が混在する DVD-RAM 内の MP3 JPEG を再生する – HighMAT 規格で記録されたディスクを HighMAT 機能を使わずに再生する

初期設定を変える

- 18 ～ 19 ページの表をご覧になり、必要に応じて変更してください。
- 日本語 のようにアミのかかった項目は、お買い上げ時の設定です。
- 変更した設定は電源を切っても保持されます。

ディスク

項目	内容
音声言語	**●日本語**　**●英語**　**●オリジナル**（ディスクの最優先言語） **●その他＊＊＊＊**※
字幕言語	**●オート**（"音声言語"で選んだ言語で再生されなかったとき、字幕でその言語を表示） **●日本語**　**●英語**　**●その他＊＊＊＊**※
メニュー言語	**●日本語**　**●英語**　**●その他＊＊＊＊**※
アドバンストディスクレビュー （☞10 ページ）	**●イントロモード**：各タイトル／プログラムの先頭を数秒間ずつ再生 **●インターバルモード**：各タイトル／プログラムを 10 分刻みで数秒ずつ再生
視聴制限 DVD ビデオの視聴が制限できます。	**●レベル 8**：すべて視聴可 **●レベル 1 ～ 7**：記録のレベルに応じて視聴不可 **●レベル 0**：すべて視聴不可 レベルを設定すると、暗証番号入力画面が表示されます。 画面の指示に従ってください。 **暗証番号は忘れないでください。** ●視聴制限を超える DVD ビデオを入れると、画面上に表示が出ます。そのときは画面の指示に従ってください。

※リモコンの数字ボタンで言語番号（☞19 ページ）を入力します。

映像

項目	内容
TV アスペクト テレビサイズに合わせた映像の表示方法が選べます。	**●4：3 パン&スキャン**：標準サイズのテレビ 16：9 の映像は左右の切れた映像で表示 （パン＆スキャンでの再生が指定されていないソフトは、レターボックスで再生します。） **●4：3 レターボックス**：標準サイズのテレビ 16：9 の映像は上下に帯のある映像で表示 **●16：9**：ワイドサイズのテレビ
接続する TV テレビの種類に合わせて設定します。	**●標準（ブラウン管テレビ）** **●3 管式プロジェクター**　**●液晶テレビ／プロジェクター** **●プロジェクションテレビ**　**●プラズマテレビ**
TV ディレイ AV アンプとプラズマテレビに接続している場合、映像が音声より遅く感じるときに、タイミングを合わせることができます。	●0ms　●20ms　●40ms　●60ms ●80ms　●100ms
スチルモード 一時停止時の画像の表示方法が選べます。	**●オート** **●フィールド**：画像のブレが発生するとき **●フレーム**：小さい文字や細かい絵柄が見えにくいとき

音声

項目	設定
PCM デジタル出力 (同軸端子または光端子接続時のみ、☞5ページ) 接続機器が対応しているサンプリング周波数に合わせて選びます。	●**最高 48kHz**：48 kHz または 44.1 kHz まで対応 ●**最高 96kHz**：96 kHz または 88.2 kHz まで対応 ・ディスクが著作権保護されているときは、48 kHz または 44.1 kHz に変換します。 ・96 kHz に対応している接続機器でも、88.2 kHz に対応していないことがあります。(詳細は接続機器の説明書をご参照ください。)
Dolby Digital (同軸端子または光端子接続時のみ、☞5ページ)	●Bitstream：右記ロゴのある機器と接続するとき ●PCM：右記ロゴのない機器と接続するとき DOLBY DIGITAL
DTS Digital Surround (同軸端子または光端子接続時のみ、☞5ページ)	●Bitstream：右記ロゴのある機器と接続するとき ●PCM：右記ロゴのない機器と接続するとき DIGITAL dts SURROUND
音声のダイナミックレンジ圧縮 (ドルビーデジタルのみ) 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	●入　●切

画面表示

項目	設定
画面メニュー言語 初期設定画面、操作画面の言語を選びます。	●日本語　●English（英語）
画面メッセージ 画面メッセージを表示する、しないを選びます。	●入　●切
再生時の背景色 JPEG 再生時の背景色を選びます。	●ブラック　●グレー

その他

項目	設定
表示窓ディマー 本体表示窓の明るさを調節します。	●明　●暗 ●オート：再生中は暗くなり、操作をすると一時的に明るくなります。
オートパワーオフ 節電のため、操作しないときに自動的に電源を切る設定をします。	●入：停止状態で 30 分経過すると電源が切れます。 ●切
クイックセットアップ 本機の基本的な設定を、画面上での対話形式で行います。	●する：以下の設定を行います。 画面メニュー言語／接続する TV ／ TV アスペクト • クイックセットアップで“画面メニュー言語”を変えると、“メニュー言語”（☞18 ページ）も変わります。 ●しない
設定の初期化 本機をお買い上げ時の状態に戻します。	●する：視聴制限（☞18 ページ）を設定しているときは、暗証番号を入力し、[決定] を押してください。本体表示窓の“INI”表示が消えてから、電源を入れ直してください。 ●しない

言語番号一覧表

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ヴォラピュック	8679
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
スペイン	6983
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タタール	8484
タミル	8465
タガログ	8476
タジク	8471
チェコ	6783
中国語	9072
チベット	6679
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
マダガスカル	7771
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

お手入れ

ディスクが汚れたときは

● 水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。

ディスクに露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

● アルコールやシンナーは使わないでください。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
● 使用環境により異なりますがレンズのクリーニングは必要ありません。
● 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

ディスクの取扱上のお願い

ディスクの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

● ディスクにシールやラベルを貼らない
（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります。）
● 鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない
● 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
● レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
● 以下のディスクを使わない
ーシールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク（レンタルディスクなど）
ーそっていたり、割れたりひびが入っているディスク
ーハート形など、特殊な形のディスク
● 次のような場所に置かない
ー直射日光の当たるところ
ー湿気やほこりの多いところ
ー暖房器具の熱が直接当たるところ

著作権

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」および「DTS 2.0+Digital Out」は DTS 社の商標です。

HighMAT™、HighMAT ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Media, Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
WMA (Windows Media™ Audio) とは米国 Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。
これにより MP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

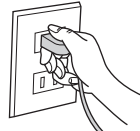
傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

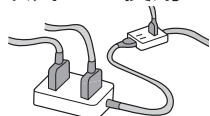
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災·感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

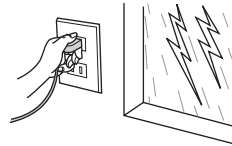
分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

電池は誤った使いかたをしない

- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚染の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指に注意

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

用語解説

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定の時間間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

ダウンミックス

ディスクに収録されたマルチチャンネル（サラウンド）の音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。

デコーダー

DVDなどに圧縮して記録した音声データを、通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

ビットレート

1秒間に記録・伝送するビット（情報量の最小単位）の総数のことです。
デジタル信号を送るスピード、量を決めるもので数値が大きいほど音質や画質が良くなります。

フィルム素材／ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ／秒または30コマ／秒で記録されているもの。（映画の映像などで使われています。）
- **ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム／秒、60フィールド／秒で記録されているもの。（テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています。）

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオCDを再生する方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。

フレーム／フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム ＝ フィールド ＋ フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プログレッシブ / インターレース

従来の映像信号（NTSC）は525i（i：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、その525i信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p（p：プログレッシブ＝順次走査）といいます。プログレッシブではDVDソフト本来の高精細映像を再現できます。プログレッシブ映像を楽しむには、対応テレビが必要です。

Bitstream（ビットストリーム）

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。AVアンプなどに搭載されたデコーダーにより、5.1チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

D1/D2映像出力

S映像よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本端子はプログレッシブ映像出力（525p）にも対応しているため、525i信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

DTS（Digital Theater Systems）（ディティーエス デジタルシアターシステムズ）

多くの映画館で採用されているマルチチャンネルシステムです。情報量が多いので、リアルな音響効果が得られます。

LPCM（リニアPCM）（エルピーシーエム（リニアピーシーエム））

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。

MP3（MPEG Audio Layer 3）（エムピースリー エムペグオーディオレイヤー）

元の音質をあまり損なうことなく情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどでDVD-RAM、DVD-R/RW、CD-R/RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。

S映像出力

映像信号をカラー（C）信号と輝度（Y）信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。

WMA（Windows Media™ Audio）（ダブルエムエー ウィンドウズメディアオーディオ）

米国 Microsoft Corporation で開発された音声圧縮フォーマットです。これによりMP3より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

Q & A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
接続／設置	マルチチャンネル音声を楽しむには、どのような機器が必要か	●右記ロゴのある AV アンプ（マルチチャンネル音声出力端子付き）と接続します。 DOLBY DIGITAL　DIGITAL dts SURROUND	5
	プログレッシブ映像を楽しむには どんなテレビが必要か	●D2、D3、D4 のいずれかの入力端子のある当社製テレビであれば、対応しています。テレビの説明書をご覧ください。	―
	S 映像端子、D 映像端子の両方があるテレビの場合、どちらに接続したらいいのか	●D 映像端子に接続すると、DVD に記録されたままの状態で信号を出力するため、S 映像端子に接続する場合より、さらに忠実に色を再現します。	4
	別の地域でも使えるか	●本機は日本国内専用で、東日本、西日本に関係なく使えます。海外では使用できません。	―
使いかた	海外で買った DVD ビデオ、ビデオ CD は再生できるか	●映像方式が NTSC であれば再生できます。 ●DVD ビデオは、リージョン番号が「ALL」もしくは「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	― 表紙
	映像方式が PAL のディスクは再生できるか	●再生できません。	―
	リージョン番号がない DVD ビデオは再生できるか	●リージョン番号がないディスクは再生できないことがあります。	―
	CD-G は再生できるか	●再生できません。	―
	ビデオに録画できるか	●ほとんどの DVD はコピー禁止処理がされており、録画できません。	―
録音	本機からデジタル信号のまま MD などに録音できるか	●デジタル信号（PCM）で録音できます。DVD の音声を録音する場合、以下の設定をしてください。 “PCM デジタル出力”：“最高 48 kHz” “Dolby Digital”、“DTS Digital Surround”：“PCM” “アドバンストサラウンド”：“切” ただしディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz に対応していることが必要です。 ●WMA、MP3 は録音できません。	 19 19 12 ―
画面表示	テレビなど接続機器が対応している走査線数が、本機の“ビデオ出力モード”に表示される走査線数と異なる	●“525p”と“480p”はそれぞれ同等のものです。接続機器が“480p”対応でしたら、本機の“ビデオ出力モード”を“525p”に設定してください。	17

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
電源	電源が入らない	● 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	3
	勝手に電源が切れる	● “オートパワーオフ”を“入”にしていると、節電のため、停止状態で 30 分経過すると電源が自動的に切れます。	19
操作	各ボタン操作ができない	● ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。 ● 落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。電源を一度、「切」「入」してください。または電源「切」後、電源コードを抜き差ししてください。	— —
	リモコンが働かない	● 電池が入っていますか。電池が切れていませんか。 ● リモコン受光部に向けて正しく操作してください。 ● リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）がありませんか。 ● 受光部に、日光などの強い光が直接当たっていませんか。	3 3 — —
	[▶]（再生）を押しても、再生が始まらない（または、すぐに停止する）	● 寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1 ～ 2 時間放置してください。 ● 本機で再生できるディスクかどうか確認してください。 ● ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ● ディスクを正しく入れてください。 ● 記録済みのディスクが入っているか確認してください。 ● 初期設定“視聴制限”の設定を確認してください。 ● 静止画データの入った MP3 ファイルでは時間がかかることがあります。また、再生後も時間が正確に表示されないことがあります。 ● 静止画を含む WMA は再生できないことがあります。 ● ディスクに CD-DA と別のフォーマットが含まれている場合、正しく再生できないことがあります。	— 表紙、6 20 8 — 18 — — —
	プログラム／ランダム再生ができない	● プログラム／ランダム再生できない DVD ビデオもあります。	—
	VCD（プレイバックコントロール付き）PBC メニュー画面が表示されない	● [■]（停止）を 2 回押した後、[▶]（再生）を押してください。	—
	AB リピートの終点（B 点）が自動的に決定される	● 始点（A 点）のみを設定すると、タイトル／トラックなどの終わりが B 点となります。	—
	AB リピートが自動的に解除される	● [クイックリプレイ] を押すと解除されます。	—
	リピートが自動的に解除される	● [30 秒スキップ] または [アドバンストディスクレビュー] を押すと解除されることがあります。	—
	アングルを変えて見ることができない	● 複数のアングルが記録されている場面でのみ切り換えることができます。	—
	音声／字幕言語が切り換えられない	● 複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません。 ● 本機の [音声] [字幕] ボタンでは切り換えできないディスクでも、ディスクのメニュー画面等で切り換えできる場合があります。	— —

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
操作	字幕が出ない	● 字幕の入っていないディスクでは字幕が表示されません。 ● 字幕が“切”になっている場合は、字幕を“入”にしてください。 ● A-B リピート再生の A 点、B 点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	ー 11 ー
	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた すべての設定を、お買い上げ時の設定に戻したい	以下の操作で本機をお買い上げ時の状態に戻してください。 1 停止中、本体の **[❚❚]** と **[クイック OSD]** を押しながら、テレビ画面の“オールクリア”が消えるまで、本体の **[▲ 開 / 閉]** を押す 2 本体の電源を「切」「入」する	ー
音声	音声が出ない （または音がおかしい）	● 接続した機器の音量を確認してください。 ● 接続、設定を確認してください。 ● 接続した機器の入力切り換えは正しいですか？ ● アドバンストサラウンドを“切”にしてください。 ● “音声出力”端子接続時は､“音声メニュー”で“アッテネータ”を“入”にしてください。 ● 早見／早聞き･遅見／遅聞き再生中は、デジタル出力が PCM2 チャンネルに変わります。 ● 早見／早聞き・遅見／遅聞き再生中は、ナイトサウンドモード、重低音（H.Bass)、アドバンストサラウンド、マルチ リ . マスター、サウンドエンハンスメントは働きません。 ● 再生速度を切り換えるときに、音が途切れることがあります。 ● WMA の再生中に雑音が生じることがあります。 ● 同軸端子または光端子から音声出力時は、音声効果は Bitstream 信号には働きません。 ● ディスクや使用条件によっては効果が働かなかったり、出にくい場合があります。 ● 同軸端子または光端子から音声出力時は､“PCM デジタル出力”､“Dolby Digital”､“DTS Digital Surround”を正しく設定してください。	ー 3～5、19 ー 12 17 10 10 10 ー 19 ー 19
映像	早送り／早戻しをしたら画像が乱れる	● 多少乱れることがありますが、故障ではありません。	ー
	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	● 接続を確認してください。 ● テレビの電源は入っていますか？ ● テレビの入力切換は正しいですか？ ● “TV アスペクト”は正しく設定されていますか？ ● テレビ側の画面モードを変更してください。変更できない場合、“表示メニュー”の“4:3 アスペクト”で表示サイズを調整してください。 ● ズーム機能で調節してください。 ● プログレッシブに対応していないテレビに接続して、プログレッシブ出力にしていませんか？ **[取消し]** を映像が正しく表示されるまで押したままにしてください。“525i”に設定が戻ります。 ● ハイビジョン方式の端子に接続していませんか。音声が乱れたり、映らないことがあります。	3～5 ー ー 18 17 10 ー ー

	こんなときは	ここをお確かめください	参照ページ
映像	プログレッシブ出力（525p）時、映像の一部が二重にぶれて見える	● 映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。 "画質メニュー"の"ビデオ出力モード"を"525i"(インターレース出力)にしてください。	— 17
	字幕の位置がおかしい	● "表示メニュー"の"字幕位置"を調節してください。	17
	メニュー画面が正しく表示されない	● ズーム倍率を"×1.00"にしてください。 ● "表示メニュー"の"字幕位置"を"0"にしてください。 ● "表示メニュー"の"4：3 アスペクト"を"ノーマル"にしてください。	10 17 17
	オートズーム（ぴったりズーム）が働かない	● テレビ側のズーム機能を解除してください。 ● "オート"以外の倍率にするか、[◀▶] を押して微調整してください。 ● 映像全体が暗い場合は、働かないことがあります。またディスクにより、働かないことがあります。	— 10 —
画面表示	"⃠ □□□□"（□は文字）	● ディスクまたは本機で禁止されている操作です。（"⃠"以降の文章は本機の状態によって変わります。）	—
	"Gxx Cxx は再生できません"	● 本機で再生できないグループ／コンテンツです。	7
	"ディスクを確認してください"	● ディスクが汚れています。	20
	画面メッセージが出ない	● "画面表示"メニューの"画面メッセージ"を"入"にしてください。	19
表示窓	"noPLAy"	● 再生できないディスクが入っています。 ● "ディスク"の"視聴制限"を設定したディスクが入っています。 ● 番組が記録されていないディスクが入っています。 ● ファイナライズしていないディスクが入っています。	6 18 — 6
	"U11"	● ディスクが汚れています。 ● ファイナライズしていないディスクが入っています。	20 6
	"H □□" （□□は数字）	● 異常が発生しました。（"H"以降の数字は、本機の状態によって変わります。）電源を一度、「切」「入」してください。または電源「切」後、電源コードを抜き差ししてください。	—
	"nodISC"	● ディスクが入っていません。 ● ディスクが正しく入っていません。	— 8

■処置をされても表示が消えないときは

お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（☞30、31 ページ）に修理をご依頼ください。
その場合、画面や表示窓の文字をお知らせください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

主な仕様（この仕様は、性能向上のため変更することがあります。）

許容周囲温度 +5 ～ 35 ℃
許容相対湿度 5 ～ 90 % RH（結露なきこと）
再生可能ディスク（8 cm、12 cm）
（1）DVD（DVD ビデオ）
（2）DVD-RAM（DVD-VR、JPEG※4、5、MP3※2、5）
（3）DVD-R（DVD ビデオ、DVD-VR、JPEG※4、5、MP3※2、5）
（4）DVD-R DL（DVD ビデオ、DVD-VR）
（5）DVD-RW（DVD ビデオ、DVD-VR、JPEG※4、5、MP3※2、5）
（6）+R/RW（ビデオ）
（7）+R DL（ビデオ）
（8）CD、CD-R/RW [CD-DA、ビデオ CD、SVCD※1、MP3※2、5、WMA※3、5、JPEG※4、5、HighMAT レベル 2（音声、画像）]

信号形式： NTSC

映像出力
出力レベル： 1 Vp-p（75 Ω）
出力端子： ピンジャック
端子数： 1 系統

S 映像出力
Y 出力レベル： 1 Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル： 0.286 Vp-p（75 Ω）
出力端子： S 端子
端子数： 1 系統

D1/D2 映像出力 (525p/525i)
Y 出力レベル： 1 Vp-p（75 Ω）
P_B/C_B 出力レベル： 0.7 Vp-p（75 Ω）
P_R/C_R 出力レベル： 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子： D 端子
端子数： 1 系統

音声出力
出力レベル： 2 Vrms（1 kHz、0 dB）
出力端子： ピンジャック
端子数：
- 2ch 出力： 1 系統

音声出力特性
周波数特性
- DVD(リニア音声)：
  4 Hz ～ 22 kHz（48 kHz サンプリング）
  4 Hz ～ 44 kHz（96 kHz サンプリング）
- CD audio： 4 Hz ～ 20 kHz（JEITA）

S ／ N 比
- CD audio： 115 dB（JEITA）

ダイナミックレンジ
- DVD (リニア音声)： 102 dB
- CD audio： 98 dB（JEITA）

全高調波歪率
- CD audio： 0.003 %（JEITA）

デジタル音声出力
- 光デジタル出力： 光コネクター
- 同軸デジタル出力： ピンジャック

電源 AC 100 V　50 ／ 60 Hz
消費電力 10 W
電源「スタンバイ」時　約 0.1 W

外形寸法（幅×奥行×高さ）
430 mm × 251 mm × 43 mm
質量 約 2.2 kg

※1 IEC62107 規格準拠
※2 MPEG-1 Layer3、MPEG-2 Layer3
※3 Windows Media Audio Ver 9.0 L3.
Multiple Bit Rate(MBR) との互換性はありません。
※4 Exif Ver2.1 JPEG ベースライン方式準拠
画像解像度： 160×120 ～ 6144×4096
（サブサンプリング：4:0:0、4:2:0、4:2:2、4:4:4）
極端に細長い画像は表示されない場合があります。
※5 MP3/WMA/JPEG を合わせた再生可能な最大コンテンツと最大グループの合計
再生可能な最大コンテンツ数
（トラック数と画像数）： 4000
再生可能な最大グループ数： 400

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■補修用性能部品の保有期間
当社は、この DVD ／ CD プレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき
26 ～ 28 ページの「故障かな！？」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	DVD ／ CD プレーヤー	お買い上げ日	年　月　日
品番	DVD-S50	故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■ 携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(050)5519-6348
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市駿河区有東2丁目3-22	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口県吉敷郡小郡町下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0106

本機は一般家庭用として作られています。一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

さくいん

愛情点検	長年ご使用の DVD/CD プレーヤーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

ーこのマークがある場合はー

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	DVD-S50
販売店名	☎（　　）　ー		

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

〒 571 ー 8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT8503-S
F0206AK0